委員会レポート

（審議内容の一部を掲載しました）

コミュニティバス 平原線は廃止決まる

総務福祉文教

平成26年度決算

小諸市コミュニティバス運行負担金とあるが、年間の利用者数と主な利用目的は。

A 塩野線の年間利用者数はのべ556人、運行日数256日、1日あたり約2人利用で、1日8便運行のため、1便あたり利用者は1人に満たない。平原線の年間利用者はのべ787人、1日あたり約3人程度で。こちらも8便運行のため、同じく1便あたり利用者数は1人に満たない。

目的は通勤や高校の帰り等で利用されている。平原線は廃止、塩野線は通勤・通学時間には御代田まで運行予定である。

26年度、滞納整理機構へ委託したことによって徴収できた滞納額はどれくらいか。

A 長野県滞納整理機構への委託は、26年度914万円を移管し、687万円回収し達成率76％である。

23年度から滞納整理機構が発足、毎年1千万円ほど移管しており、23年度が430万円、24年度が370万円、25年度が500万円ほど回収している。

自動車取得税が当初予算と比較して収入済額が少なかった理由は。

A 前年度中に、消費増税を理由とする駆け込み需要があったことが大きい。また、普通車から軽自動車に乗り換えている人が多いということも一つの要因である。

平成27年度補正予算

町職員健康診断委託料77万円増額だが、健康診断は当初予算に入っている。増額が必要になった理由は。

A 当初予算では4万円を計上していた。御代田中央記念病院に委託していたが、今回辞退したいとの申し出があった。小諸北佐久医師会に先生を派遣して頂けないかと相談したが難しいとのことで、浅間病院の先生にお願いしている。本来は180人を診るのに1日2時間程度では到底足りないということで、3時間での健診を4日間行うということである。医師の派遣料と職員一人にかかる診察料を計上した。

統計調査費が減額になっているが、調査員や指導員を減らす事態になっているのか。

A 調査員・指導員の数は国で決められたものに従っている。当初予算の段階では前回国勢調査で要した費用に基づいて予算を計上したが、その後国からの交付決定があり、それに基づき減額している。前回の国勢調査に比べ、調査員の数は大幅に減らされている。

コミュニティバス

広がる松食い虫被害 対策追いつかず

町民建設経済

平成26年度決算

松食い虫防除対策費が451万円とあるが、昨年度の対策内容と被害の状況は。

A 昨年度は処理本数が131本で、処分量としては161㎥であった。

被害状況は佐久市・小諸市境から徐々に拡大しており、町全体に拡大して軽井沢町まで達している。

防除対策は交付金の額に合わせて実施しているが、拡大の早さに追いつかない状況である。

御代田町に学童保育を作る会に補助金が30万円出ているが、26年度の事業内容と、27年度から大林児童館で小学校高学年も対象の児童保育が開始されるが、開始後の対応はどのようになるのか。

A 26年度は夏休みに24名、冬休みに5名、春休みに19名が利用し計48名の利用状況であった。

同会と協議中であるが、大林児童館で高学年を受け入れた後、東原児童館でも受け入れる予定であり、平成27年度で助成金は終了する予定である。

公共下水道の公共ます設置は、新築に際しての設置ということか。また、設置する地域はどこが多いのか。それと下水道整備率はどのようになっているか。

A 新築などに関わる公共ますの取り出し工事であり、近年では西軽井沢地区や向原地区が多い傾向にある。

下水道の整備率は面積で86・2％、人口で84・4％であり、整備率は高い方である。

平成27年度補正予算

空き家調査事業委託料が計上されているが、どこに委託するのか、またこの調査は空き家バンクを整備するためなのか。

A 航空測量や道路の測量設計等を行なう業者に委託する予定である。

調査は、水道使用状況により空き家件数を把握し、現地調査により状態のランク付けを行ない、家屋所有者に貸す意思があるかどうかのアンケートまで実施し、活用可能な空き家データーについては、企画財政課において空き家バンク登録の呼びかけ資料とする。

倒壊等の危険な家屋については、建設水道課で検討していくことになる。

県道御代田停車場線の拡幅工事進捗状況は。

A 県道と町道との信号機付近は工事発注済みである。全ての用地取得交渉は終わっていないが、用地取得交渉の終っているカーブ部分に関しては来年度以降の工事予定である。

処理された松の木